

# まえばし摂食・嚥下研究会 学術講演会

## 演題：生活の視点からみる摂食嚥下障害の基本的知識とその対応

日時：令和7年2月22日（土）19時00分

会場：前橋市朝日町3-21-13まえばし医療センター2階 共用会議室

講師：東京歯科大学口腔健康科学講座摂食嚥下リハビリテーション研究室 教授 石田 瞭 先生

摂食嚥下障害は、食物の認知から食塊が胃へ到達するまでに1つあるいは複数の障害があること、と定義されます。ごく簡単には、口あるいはノド、またその両方に障害があること、と捉える方が分かりやすいかもしれませんが。機能評価により、機能的な問題点を明示することはできます。ただし、食べることはその人の生活の一部ですから、住まいを含めた生活環境を把握せずしてプランニングすることは避けるべきです。外来診療ではそこが盲点となりやすく、注意が必要です。訪問診療であれば、患者生活の場に足を踏み入れるわけですから、生活環境を直接アセスメントが可能で有利です。

もう一つ、栄養充足の視点から、いかにあるべきか、を思案することも忘れてはなりません。そもそも経口摂取は栄養手段の一部で、経管栄養、経静脈栄養を併用しているケースもあります。在宅では体重測定が難しいことも多く、これは規定の栄養計算が困難であることを意味します。理想と思われる栄養プランが、かえって介護者に負担を強くないか配慮も必要です。我々は時々しか患者に接しないのです。独居の場合はどうするのでしょうか？

今回はこのような視点から、摂食嚥下障害への対応について皆様と考えたいと思います。

<講師略歴>

平成8年3月 岡山大学歯学部卒業

平成10年11月 Johns Hopkins University (Maryland, USA) 留学

平成12年3月 昭和大学大学院歯学研究科（口腔衛生学）修了

平成12年4月 昭和大学歯学部口腔衛生学 助手

平成15年4月 岡山大学医学部・歯学部附属病院 特殊歯科総合治療部 講師

平成20年4月 東京歯科大学 摂食・嚥下リハビリテーション・地域歯科診療支援科 講師

平成23年6月 同 准教授

平成27年4月 東京歯科大学 口腔健康科学講座 摂食嚥下リハビリテーション研究室 教授

お申し込みは、下記の受講申し込みにご記入のうえ、令和7年2月14日（金）までに FAX またはメールにてお申し込みください。

【受講申し込み】 FAX 027-225-2483

氏名		職種	
医院名・所属			
ご連絡先（電話番号）			

メールでのお申し込み Email [sekiguchi@maeshi.or.jp](mailto:sekiguchi@maeshi.or.jp)

まえばし摂食・嚥下研究会 連絡先：前橋市歯科医師会 TEL 027-225-2477